



子どもの食と心を支える ほっこりアイランド in 南千住

「夕食提供と学習サポートをしています」
ほっこりアイランド in 南千住に行っ
てきました。ここは、毎週水曜日に夕
食提供と学習サポートをしています。

保護司、民生委員児童委員、更生保
護女性会や塾講師など様々な分野のス
タッフ十名中心に四十名のボランティア
アが交代で二十一名の子どもの心と食
を支えています。主食はボランティア
が作り、副食は荒川区商店街連合会青
年部の「アメリヤ」さん、「犬竹」さ
ん「美加志屋」さんが交代で提供して
います。

ここに登録されている子ども達は、
スクールソーシャルワーカーや子ども
家庭支援センターから紹介されて来て
います。

「貧困とは」

貧困には「絶対的貧困」と「相対的
貧困」の二種類があります。主に途上
国で起きている「絶対的貧困」は最低
限必要な食料・生活必需品を購入す
るためのお金がない状況です。今、話題

となつていている貧困とは所得の中央値の半
分を下回っている人の割合で、その国の
所得格差を表している「相対的貧困」で
す。

「子どもの貧困は様々」

経済的な理由により教育に差がつくと、
親から子どもへと貧困の連鎖となります。
親の病気や貧困、虐待。親の自己責任
と切つて捨てることは簡単ですが、果た
してそれで良いのでしょうか。

父子家庭、母子家庭で親の代わりに弟
や妹の世話をするために学校に行けない
子どももいます。放課後、友だちが習い
事や塾に行き、行き場がなく取り残され
てしまう子どももいます。努力したいが、
努力ができるだけの環境がない。助けて
欲しいと声をあげることができない。様々
な過酷な状況の中、子どもは成長してい
ます。

「見守って育てる」

家、学校に次ぐ第
三の繋がり場所と
して、ほっこりアイ
ランドがあります。

スタッフに自分の作ったプラモデルを
並べて見せていた高校生は、信頼の心を
見せていたように思います。中学生の姉
に静かに寄り添う三才の男の子、ノート



を開いて勉強している小学生がいました。

「温かな夕飯を皆で食べる。」

大家族で食べる時間と場所の提供は子
どもに楽しみと安心をもたらします。子
どもは気にかけてくれる、転んでも助け
てくれる人がいるという安心感があると
前向きに歩き出します。

「地域で子どもを育てる。」

自分もこの状況になつ
ていたかもしれないと
考え、子どもの気持ち
に寄り添って、ご支援
とご理解頂けたらと思
います。



ほっこりアイランド in 南千住

南千住2丁目

連絡先

荒川区社会福祉協議会 ボランティアセンター

03-3802-3338 vorasen@arakawa-shakyo.or.jp

荒川区「子どもの居場所づくり事業」補助事業

